

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

「無病息災でありますように…」 〈とうどうさん〉

新年、あけましておめでとうございます。

新年を迎え、今回ご紹介するのは、小正月の1月15日に無病息災を祈って行われる「とうどうさん」です。地域によつては、「とうどさん」と呼ぶところもありますが、昔



とうどうさん

から正月の伝統行事として行われ、竹で円錐形に組んだものにしめ縄を巻き、その年飾ったしめ飾りなどを持ち寄り、積み上げてはやし（燃やし）、出迎えた歳神を炎と共に天上に見送るという古くからの習わしです。

昭和30年ごろからしばらく中断していましたが、北条地区で復活したのをきっかけに、再び東予地域でこの行事が行われるようになりました。

とうどうさんをはやす（燃やす）時、この火にあたると病気をしない、災難にあわない。また書き初めを燃やして高く舞い上がると字が上達する。残り火で餅を焼いて食べると無病息災でその年が過ごせるといわれています。

今年は、「丑年」。「牛の歩みも千里」（怠らずに努力をし続ければ成果があがる）ということわざがあるように、牛のように忍耐強く、そして押しと粘りの強い年にしたいですね。この一年、皆様にとりまして素晴らしい年でありますようお祈り申し上げます。

ここで、ちょっと雑学…。丑年生まれには、学問の神様で有名な菅原道真、「蘭学事始」の著者である杉田玄白、日本初の総理大臣となった伊藤博文などがいます。

丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

きれいな滝からの水が、丹原地区簡易水道に

・・河南地区（丹原町寺尾・志川など）・・

横谷の滝



この滝は、丹原町楠窪の志河川ダムの上流の支流、横谷にあり、滝から流れた水を河南地区の丹原地区簡易水道に利用しています。

この支流からの水は、寺尾・志川などの集落の水道として供給されていましたが、その後、旧丹原町の簡易水道として整備され、現在、市によって維持管理されています。

滝から流れた水は、導水管を通じて浄水場に入り、ろ過池でろ過された後、塩素で消毒され、配水池に貯まり、河南地区の一般家庭など約300世帯に送られています。

丹原町管内で市が管理する水道の取水は、ほとんどが地下水ですが、河南地区のみこの表流水を利用しています。私たちの利用している水道の水源は、大自然の恵みによって得られる地下水や表流水であり、大切な有限資源です。昨今の異常気象による渇水の時期には、配水経路の切替などを行い、貴重な水を効率的に各水源に配水し、集中豪雨時期には、表流水の濁りへの対応のため取水の調整を行うなど、水源の維持管理に注意を払っています。

今後も安全な水を市民の皆様にご安定して供給してまいりますので、水道行政へのご理解とともに、節水のご協力をお願いします。



浄水場

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

市民とともに椿のまちづくり

《「椿」千年の森づくりと小松つばき会》

千年先まで咲き誇る「椿の香りと文化」継承をめざして、11月23日に小松中央公園の椿の園で「椿」千年の森づくりが行われました。この事業は、小松地区老人クラブ連合会の椿栽培への取り組み20年を記念するとともに、今後の椿によるまちづくり事業の一環として行われたものです。

気持ちの良い秋晴れとなった当日は、約80人が参加して小松つばき会の会員による指導のもと、椿の苗木を植栽しました。高さ30センチから1メートルを超える椿の苗木や水を運んだり、穴を掘って苗木を植えたりと、皆さん汗をかきながら協力し合って約350本の椿を植えました。植栽後は、記念に椿の苗木をプレゼントし、自宅の庭にも椿の温かさを広めるよう呼びかけました。

植栽指導をしていただいた小松つばき会は、町内の椿愛好家が集まって日本ツバキ協会の支部として発足し、小松特有の椿の育成や椿の普及啓発を行っています。具体的には、椿交流館に隣接された約300種の椿が咲く椿ハウスの管理、7月ごろには小松まちづくり開発センターで椿の挿し木、石根小学校では篤山椿の挿し木指導、今年からは老人クラブから引き継いで椿一輪展を開催し、椿の育て方や接木の方法なども講習しています。

この「椿」千年の森づくりを第一歩として、今後も椿のまちづくりを市民の皆さんとともに、香り高い文化の継承に努めていきます。

